

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
総合柔道整復学3							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・昼間部	3年	1期	伊藤 恵里		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	臨床柔道整復学			座学	1	10	
科目概要							
柔道整復師が臨床現場で携わる機会が多い、骨や筋、神経の損傷や障害を解剖学的要素からのみで捉えるだけでなく、生理学的要素の知識も踏まえた上で、対応が出来る様に展開して行く。							
目標							
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	柔道整復で取り扱う損傷や障害を多様な視点から捉えられるための知識を身に付ける。 「損傷」に係わる生理的要素(骨、筋、神経機能等)について理解し、説明できるようにする。						
	到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	1. 骨の機能について理解し列挙する事ができる。 2. 筋の機能について理解し列挙する事ができる。 3. 神経の機能について理解し列挙する事ができる。 4. 生理学的要素に関する損傷や障害について理解し列挙する事ができる。					
履修に必要な予備知識や技能							
人体の構造と機能 柔道整復学理論							
教科書・参考書							
参考書:『解剖学 改訂第2版』『生理学 改訂第3版・第4版』							
受講上の注意							
今まで学んできた知識の集大成となる科目の1つであり、将来の活躍に活かすためにも予習・復習を心がけ臨んでいただきたい。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	骨の機能について				参考書 筆記用具		
第2回	骨の機能、損傷や障害について				参考書 筆記用具		
第3回	筋の機能について				参考書 筆記用具		
第4回	筋の機能、損傷や障害について				参考書 筆記用具		
第5回	骨・筋まとめ 神経の基本的構造と機能				参考書 筆記用具		
第6回	神経の機能について(自律神経系)				参考書 筆記用具		
第7回	神経の機能について(運動・姿勢調節)				参考書 筆記用具		
第8回	神経の機能について(反射・伝導路)				参考書 筆記用具		
第9回	神経の損傷や障害について				参考書 筆記用具		
第10回	定期試験				筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
柔道整復師として、接骨院勤務、整形外科勤務、スポーツトレーナーを経験。研修会や接骨医学会に所属。上記経験を踏まえ身体機能の臨床応用を解説します。							
メールアドレス							
e.ito@nihonisen.ac.jp							